

OSSTech 製

OpenLDAP 2.4 パッケージ

インストールガイド v4.0



OSSTech

オープンソース・ソリューション・テクノロジー(株)

作成日: 2012 年 3 月 30 日

リビジョン: 4.0

目次

1. はじめに.....	1
2. Linux 版 OpenLDAP 2.4 パッケージ.....	2
2.1 システム要件.....	2
2.1.1 ソフトウェア要件.....	2
2.1.2 ハードウェア要件.....	2
2.2 パッケージ構成.....	2
2.3 Linux5 版パッケージのインストール.....	3
2.3.1 準備.....	3
2.3.2 依存パッケージのインストール.....	3
2.3.3 パッケージのインストール.....	3
2.4 Linux6 版パッケージのインストール.....	4
2.4.1 準備.....	4
2.4.2 依存パッケージのインストール.....	4
2.4.3 パッケージのインストール.....	4
2.5 OpenLDAP 2.4 パッケージのアップデート.....	5
3. Solaris 版 OpenLDAP 2.4 パッケージ.....	7
3.1 システム要件.....	7
3.1.1 ソフトウェア要件.....	7
3.1.2 ハードウェア要件.....	7
3.2 パッケージ構成.....	7
3.3 Solaris 版パッケージのインストール.....	8
3.3.1 準備.....	8
3.3.2 パッケージのインストール.....	8
3.3.3 Solaris 10 OS パッチの適用.....	9
3.3.4 RPM 環境のインストール.....	9
3.3.5 パッケージのインストール.....	9
3.3.6 OpenLDAP 2.4 パッケージのアップデート.....	10
4. OpenLDAP 2.4 パッケージの各種コマンド.....	12
4.1 OpenLDAP サーバーの起動・停止.....	12
4.2 起動オプションの設定.....	12
4.2.1 -l オプションで syslog のファシリティを設定したい場合.....	12
4.2.2 -h オプションでサービスの URL を設定したい場合.....	12
5. インストールガイド更新履歴.....	14
5.1 2010/3/9 初版 : OpenLDAP 2.4 インストールガイド v1.0.....	14
5.2 2010/5/7 第2版 : OpenLDAP 2.4 インストールガイド v2.0.....	14
5.3 2010/8/30 第3版 : OpenLDAP 2.4 インストールガイド v3.0.....	14
5.4 2012/3/30 第4版 : OpenLDAP2.4 インストールガイド v4.0.....	14

1. はじめに

本ドキュメントは、弊社提供の **OpenLDAP** パッケージを導入するための手順書です。

OpenLDAP パッケージのインストールの際に、必ず本ドキュメントの内容を確認してから、作業を実施してください。

本ドキュメントに関する記載内容について、疑問点等がある場合には、弊社サポート窓口までお問い合わせください。

2. Linux 版 OpenLDAP 2.4 パッケージ

2.1 システム要件

2.1.1 ソフトウェア要件

以下のいずれかの OS 環境が必要です。

- RedHat Enterprise Linux 6 / CentOS 6 (x86-64)
- RedHat Enterprise Linux 5 / CentOS 5 (x86, x86-64)

2.1.2 ハードウェア要件

ソフトウェア要件に記載の OS が動作する以下のハードウェア環境が必要です。

CPU:	Intel Pentium III 1GHz 以上あるいは互換 CPU		
メモリ:	512MB 以上 (1GB 以上推奨。LDAP エントリ数等に依存)		
ディスク:	ソフトウェア: /opt/osstech	1GB 以上	
	データ、ログ: /var/opt/osstech	1GB 以上(推奨)	

2.2 パッケージ構成

弊社が提供する Linux 版 ソフトウェアは以下のパッケージにより構成されています。

- OSSTech ソフトウェア製品基本パッケージ
 - osstech-base
 - osstech-support
 - osstech-daemontools
- OpenLDAP 2.4 パッケージ
 - osstech-openldap
 - osstech-openldap-clients
 - osstech-openldap-servers
 - osstech-openldap-servers-perl
 - osstech-openldap2.4-libs
 - osstech-db4.8
 - osstech-db4.8-utils
 - osstech-openldap-devel
 - osstech-db4.8-devel

devel ディレクトリのパッケージは、OpenLDAP サーバーの運用には不要なため、必ずしもインストールする必要はありません。

2.3 Linux5 版パッケージのインストール

2.3.1 準備

パッケージのインストールは、root ユーザーのみに許可されていますので、最初に su コマンドで root ユーザーになります。

```
$ su -  
Password: root のパスワードを入力 (画面には表示されません)
```

次に弊社から提供されたパッケージ一式をインストール先ホストの任意のディレクトリに展開します。下記の例では/srv/osstech/software/RPMS に展開したことを前提として記述します。

2.3.2 依存パッケージのインストール

弊社提供の OpenLDAP2.4 で必要とされる次のパッケージをインストールします。

- libtool-ltdl

2.3.3 パッケージのインストール

弊社提供の OpenLDAP 2.4 パッケージは、/opt/osstech ディレクトリに新規インストールされます。

“/srv/osstech/software/RPMS/”に弊社提供のパッケージ一式がコピーしてあることを確認します。

```
# cd /srv/osstech/software/RPMS  
# ls  
base  openldap
```

まず最初に、base ディレクトリにある osstech-base、osstech-support、osstech-daemontools パッケージをインストールします。既にこれらのパッケージがインストールされている場合は、この手順は不要です。

```
# rpm -ihv base/*.rpm
```

続いて、OpenLDAP 2.4 パッケージ一式をインストールします。

```
# rpm -ihv openldap/*.rpm
```

以上で、OpenLDAP 2.4 パッケージのインストールは完了です。

2.4 Linux 版パッケージのインストール

2.4.1 準備

パッケージのインストールは、root ユーザーのみに許可されていますので、最初に su コマンドで root ユーザーになります。

```
$ su -  
Password: root のパスワードを入力 (画面には表示されません)
```

次に弊社から提供されたパッケージ一式をインストール先ホストの任意のディレクトリに展開します。下記の例では/srv/osstech/software/RPMS に展開したことを前提として記述します。

2.4.2 依存パッケージのインストール

弊社提供の OpenLDAP2.4 で必要とされる次のパッケージをインストールします。

- ksh
- perl-Pod-Escapes
- perl-version
- perl-Module-Pluggable
- perl-Pod-Simple
- perl-libs
- perl
- libtool-ltdl

2.4.3 パッケージのインストール

弊社提供の OpenLDAP 2.4 パッケージは、/opt/osstech ディレクトリに新規インストールされます。

“/srv/osstech/software/RPMS”に弊社提供のパッケージ一式がコピーしてあることを確認します。

```
# cd /srv/osstech/software/RPMS  
# ls  
base  openldap
```

まず最初に、base ディレクトリにある osstech-base、osstech-support、osstech-daemontools パッケージをインストールします。既にこれらのパッケージがインストールされている場合は、この手順

は不要です。

```
# rpm -ihv base/*.rpm
```

続いて、OpenLDAP 2.4 パッケージ一式をインストールします。

```
# rpm -ihv openldap/*.rpm
```

以上で、OpenLDAP 2.4 パッケージのインストールは完了です。

2.5 OpenLDAP 2.4 パッケージのアップデート

OpenLDAP 2.4 パッケージのアップデートは次の手順で行ってください。

最初に su コマンドで root ユーザーになります。

```
$ su -  
Password: root のパスワードを入力 (画面には表示されません)
```

パッケージのアップデート前に、OpenLDAP の各種設定ファイルをバックアップしておきます。

バックアップ対象ディレクトリ	ディレクトリに含まれるデータ
/opt/osstech/etc/openldap	OpenLDAP の設定ファイル、スキーマファイルなど

OpenLDAP のサービスを停止します。

```
# /sbin/service osstech-ldap stop
```

登録されている LDAP エントリの LDIF 形式のバックアップを取得しておきます。

```
# /opt/osstech/sbin/slappcat > ldap-backup.ldif
```

次に弊社から提供されたパッケージ一式をインストール先ホストの任意のディレクトリに展開します。
下記の例では/srv/osstech/software/RPMS に展開したことを前提として記述します。

/srv/osstech/software/RPMS に弊社提供の OpenLDAP 2.4 パッケージ一式があることを確認します。

```
# cd /srv/osstech/software/RPMS  
# ls base  
osstech-base-3.0-71.el6.noarch.rpm  
osstech-daemontools-1.03-40.el6.x86_64.rpm  
...
```

```
# ls openldap
osstech-db4.8-4.8.30-7.el6.x86_64.rpm
osstech-db4.8-utils-4.8.30-7.el6.x86_64.rpm
osstech-openldap-2.4.25-42.el6.x86_64.rpm
osstech-openldap-clients-2.4.25-42.el6.x86_64.rpm
...
```

最初に **base** ディレクトリに含まれるパッケージ一式のアップデートを **rpm** コマンドで行います。

```
# /bin/rpm -Uhv base/*.rpm
```

既に最新のパッケージがインストール済みの場合、次のエラーが表示されます。この場合はインストール済みのパッケージをアップデートする必要はありませんので、アップデート不要なパッケージを、ディレクトリから除いておき、再度、アップデートを試みます。

```
# /bin/rpm -Uhv base/*.rpm
準備中... ##### [100%]
    パッケージ osstech-base-3.0-71.el6 は既にインストールされています。
    パッケージ osstech-support-3.0-71.el6 は既にインストールされています。
```

上記の例の場合、**osstech-base** パッケージと **osstech-support** パッケージのアップデートが不要なことを表しています。

続いて、**rpm** コマンドで弊社提供の **OpenLDAP 2.4** パッケージ一式をインストールします。

```
# /bin/rpm -Uhv openldap/*.rpm
```

また、システムに開発用の **devel** パッケージもインストール済みの場合は、次のように **devel** パッケージも一緒に指定して、**OpenLDAP 2.4** パッケージをアップデートします。

```
# /bin/rpm -Uhv openldap/*.rpm openldap/devel/*.rpm
```

以上でパッケージのアップデートは完了です。

3. Solaris 版 OpenLDAP 2.4 パッケージ

3.1 システム要件

|| 3.1.1 ソフトウェア要件

以下のいずれかの OS 環境が必要です。

- Solaris 10 (SPARC)
- Solaris 10 (x86)

|| 3.1.2 ハードウェア要件

ソフトウェア要件に記載の OS が動作する以下のハードウェア環境が必要です。

CPU:	Intel Pentium III 1GHz 以上あるいは互換 CPU
	Sun UltraSPARC II 1GHz 以上あるいは互換 CPU
メモリ:	512MB 以上 (1GB 以上推奨。登録エントリ数等に依存)
ディスク:	ソフトウェア: /opt/osstech 1GB 以上
	データ、ログ: /var/opt/osstech 1GB 以上(推奨)

3.2 パッケージ構成

弊社が提供する Solaris 版 ソフトウェアは以下のパッケージにより構成されています。

- OSSTech ソフトウェア製品基本パッケージ
 - osstech-base
 - osstech-support
 - osstech-rpm
 - osstech-rpm-build
 - osstech-rpm-devel
 - osstech-rpm-libs
 - osstech-rpm-python
 - osstech-daemontools
 - osstech-logrotate
 - osstech-cronie
 - osstech-libtool-ltdl
 - osstech-libtool-ltdl-devel

- OpenLDAP 2.4 パッケージ
 - osstech-openldap
 - osstech-openldap-clients
 - osstech-openldap-servers
 - osstech-openldap-servers-perl
 - osstech-openldap2.4-libs
 - osstech-db4.8
 - osstech-db4.8-utils
 - osstech-openldap-devel
 - osstech-db4.8-devel

devel ディレクトリのパッケージは、OpenLDAP サーバーの運用には不要なため、必ずしもインストールする必要はありません。

3.3 Solaris 版パッケージのインストール

3.3.1 準備

パッケージのインストールは、root ユーザーのみに許可されていますので、最初に su コマンドで root ユーザーになります。

```
$ su -  
Password: root のパスワードを入力 (画面には表示されません)
```

次に弊社から提供されたパッケージ一式をインストール先ホストの任意のディレクトリに展開します。下記の例では/srv/osstech/software/RPMS に展開したことを前提とて記述します。

3.3.2 パッケージのインストール

弊社提供の OpenLDAP 2.4 パッケージは、/opt/osstech ディレクトリに新規インストールされます。

“/srv/osstech/software/RPMS/”に弊社提供のパッケージ一式がコピーしてあることを確認します。

```
# cd /srv/osstech/software/RPMS  
# ls  
base  bootstrap  openldap
```

|| 3.3.3 Solaris 10 OS パッチの適用

showrev コマンドで OS パッチ 121606-02 以降 (SPARC の場合)、または 121607-02 以降 (x86 の場合) がシステムに適用されていることを確認します。Solaris 10 Update 4 (8/07)以降には標準で適用済みであるため、不要です。

パッチの確認: SPARC の場合

```
# showrev -p | egrep 121606
Patch: 121606-02 Obsoletes: Requires: Incompatibles: Packages: SUNWPython-share,
SUNWPython, SUNWPython-devel
```

パッチの確認: x86 の場合

```
# showrev -p | egrep 121607
Patch: 121607-02 Obsoletes: Requires: Incompatibles: Packages: SUNWPython-share,
SUNWPython, SUNWPython-devel
```

2008 年 11 月現在、パッチの最新版は以下の URL から取得することが可能です。このパッチのダウンロードは、Sun Service Plan の契約ユーザーのみに限定されています。

- SPARC 用
 - 121606-04: GNOME 2.6.0: Python patch
<http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-21-121606-04-1>
- x86 用
 - 121607-04: GNOME 2.6.0: Python patch
<http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-21-121607-04-1>

ダウンロードしたパッチは次の手順で適用します。

```
# unzip -q 121607-04.zip
# /usr/sbin/patchadd 121607-04
```

|| 3.3.4 RPM 環境のインストール

弊社提供の Solaris 版ソフトウェアパッケージは RPM での管理となります。まず RPM 環境をインストールします。

```
# cd /srv/osstech/software/RPMS
# ./bootstrap/osstech-bootstrap.ksh ./bootstrap
```

|| 3.3.5 パッケージのインストール

インストールされた rpm コマンドを使用して、Samba 並びにその他必要なパッケージをインストールします。

```
# /opt/osstech/bin/rpm -iv base/*.rpm
# /opt/osstech/bin/rpm -iv openldap/*.rpm
```

以上で OpenLDAP 2.4 パッケージのインストールは完了です。

|| 3.3.6 OpenLDAP 2.4 パッケージのアップデート

Solaris 版 OpenLDAP 2.4 パッケージのアップデートは次の手順で行ってください。

最初に `su` コマンドで `root` ユーザーになります。

```
$ su -  
Password: root のパスワードを入力 (画面には表示されません)
```

パッケージのアップデート前に、OpenLDAP の各種設定ファイルをバックアップしておきます。

バックアップ対象ディレクトリ	ディレクトリに含まれるデータ
/opt/osstech/etc/openldap	OpenLDAP の設定ファイル、スキーマファイルなど

OpenLDAP のサービスを停止します。

```
# /etc/init.d/osstech-ldap stop
```

登録されている LDAP エントリの LDIF 形式のバックアップを取得しておきます。

```
# /opt/osstech/sbin/slapcat > ldap-backup.ldif
```

次に弊社から提供されたパッケージ一式をインストール先ホストの任意のディレクトリに展開します。
下記の例では `/srv/osstech/software/RPMS` に展開したことを前提として記述します。

`/srv/osstech/software/RPMS` に弊社提供の OpenLDAP 2.4 パッケージ一式があることを確認します。

```
# cd /srv/osstech/software/RPMS  
# ls bootstrap  
osstech-base-3.0-71.sol10.noarch.rpm  
osstech-rpm-4.4.2.3-32.sol10.i386.rpm  
...  
# ls base  
osstech-cronie-1.2-10.sol10.i386.rpm  
osstech-daemontools-1.03-40.sol10.i386.rpm  
osstech-libtool-ltdl-2.2.6-4.sol10.i386.rpm  
osstech-logrotate-3.7.7-1.3.sol10.i386.rpm  
  
# ls openldap  
osstech-db4.8-4.8.30-7.sol10.i386.rpm  
osstech-db4.8-utils-4.8.30-7.sol10.i386.rpm
```

```
osstech-openldap-2.4.25-42.sol10.i386.rpm
osstech-openldap-clients-2.4.25-42.sol10.i386.rpm
...
```

最初に **bootstrap** ディレクトリに含まれるパッケージ一式のアップデートを **rpm** コマンドで行います。

```
# /opt/osstech/bin/rpm -Uhv bootstrap/*.rpm
```

既に最新のパッケージがインストール済みの場合、次のエラーが表示されます。この場合はインストール済みのパッケージをアップデートする必要はありませんので、アップデート不要なパッケージを、ディレクトリから除いておき、再度、アップデートを試みます。

```
# /opt/osstech/bin/rpm -Uhv bootstrap/*.rpm
準備中... ##### [100%]
    パッケージ osstech-base-3.0-51.el5 は既にインストールされています。
    パッケージ osstech-support-3.0-51.el5 は既にインストールされています。
```

上記の例の場合、**osstech-base** パッケージと **osstech-support** パッケージのアップデートが不要なことを表しています。

続いて、**base** ディレクトリのパッケージのアップデートを行います。

```
# /opt/osstech/bin/rpm -Uhv base/*.rpm
```

続いて、**rpm** コマンドで弊社提供の **OpenLDAP 2.4** パッケージ一式をインストールします。

```
# /opt/osstech/bin/rpm -Uhv openldap/*.rpm
```

また、システムに開発用の **devel** パッケージもインストール済みの場合は、次のように **devel** パッケージも一緒に指定して、**OpenLDAP 2.4** パッケージをアップデートします。

```
# /opt/osstech/bin/rpm -Uhv openldap/*.rpm openldap/devel/*.rpm
```

以上でパッケージのアップデートは完了です。

4. OpenLDAP 2.4 パッケージの各種コマンド

OSSTech 製 OpenLDAP2.4 パッケージは、/opt/osstech ディレクトリ配下にインストールされます。

- LDAP デーモン (/opt/osstech/sbin/slapd)
- LDAP ユーティリティ (/opt/osstech/bin/ldapsearch, /opt/osstech/bin/ldapadd など)
- 管理者用 LDAP ユーティリティ (/opt/osstech/sbin/slapadd, /opt/osstech/sbin/slapcat など)
- 起動スクリプト (/etc/init.d/osstech-ldap)
- 設定ファイル (/opt/osstech/etc/openldap/slapd.conf、/opt/osstech/etc/openldap/ldap.conf など)
- schema ファイル (/opt/osstech/etc/openldap/schema/ディレクトリ)
- LDAP データ格納ディレクトリ (/opt/osstech/var/lib/ldap)
- BDB ユーティリティ (/opt/osstech/sbin/slapd_db_recover など)

4.1 OpenLDAP サーバーの起動・停止

弊社提供の OpenLDAP 2.4 サーバーを起動するときは、次のコマンドを実行します。

```
# /etc/init.d/osstech-ldap start
```

弊社提供の OpenLDAP 2.4 サーバーを停止するときは、次のコマンドを実行します。

```
# /etc/init.d/osstech-ldap stop
```

4.2 起動オプションの設定

slapd を起動する際に、オプションを指定したい場合は、次の各設定を行った後に、osstech-ldap を再起動してください。

4.2.1 -l オプションで syslog のファシリティを設定したい場合

syslog のファシリティを設定したい場合は、/opt/osstech/var/lib/sv/slapd/env/SYSLOGFACILITY ファイルに -l オプションに渡したい文字列を設定します。

```
# echo LOCAL5 > /opt/osstech/var/lib/sv/slapd/env/SYSLOGFACILITY
```

4.2.2 -h オプションでサービスの URL を設定したい場合

サービスの URL を設定したい場合は、/opt/osstech/var/lib/sv/slapd/env/SERVICES ファイルに -h オプションに渡したい文字列を設定します。

```
# echo "ldap://127.0.0.1/ ldaps://127.0.0.1/" >  
/opt/osstech/var/lib/sv/slapd/env/SERVICES
```

ただし、**SERVICES** ファイルに何も設定されていないデフォルト状態の場合、**LDAP** サーバーのサービス **URL** として、次の **URL** が設定されます。

- **TLS** が有効な場合
 - “ldap:/// ldaps://”
- **TLS** が無効な場合
 - “ldap://”

5. インストールガイド更新履歴

5.1 2010/3/9 初版 : OpenLDAP 2.4 インストールガイド v1.0

- 初版

5.2 2010/5/7 第 2 版 : OpenLDAP 2.4 インストールガイド v2.0

- slapd 起動時のオプションの設定方法について記載

5.3 2010/8/30 第 3 版 : OpenLDAP 2.4 インストールガイド v3.0

- Solaris 版パッケージのインストール手順について記載
- パッケージのアップデート方法について記載

5.4 2012/3/30 第 4 版 : OpenLDAP2.4 インストールガイド v4.0

- 構成パッケージの更新
- 依存パッケージについて記載